

白内障、そけいヘルニア、痔*

急増する 日帰り手術 総チェック

「手術＝入院」とイメージする人はまだまだ多いのではないだろうか？ しかし今、手術したその日のうちに退院できる「日帰り手術」を行う病院が増えている。仕事が忙しくて入院できない、病院にいるより自宅にいるほうが良い、などといったニーズが強くなっているからだ。対象となる疾患は、白内障、痔、前立腺肥大症など多種類に及ぶ。果たして入院する必要がない「日帰り手術」は、いったいどのような行われているのだろうか？ 実際に手術を受けた人たちの体験を交えながら、手術の内容、費用、メリット・デメリットに迫る。

イラスト＝河内久美子 撮影＝増田 智



★手術日程

手術
数日前

術前検査

レントゲン、心電図、採血などの検査をし、合併症の有無などを確認

当日
1時間前

来院

着替えをして点滴

手術

手術開始

腰椎麻酔。麻酔が効いてきたら手術

手術後

リハビリルームへ

手術終了後、約1~2時間後に水、食事をとる。自力排尿ができ、我慢できる程度の痛みなら夕方帰宅

帰宅後

自宅での過ごし方

入浴は不可。食事は軽めに、腹圧をかけないように過ごす

翌日~
1カ月

日常生活

腹圧をかけないように注意。激しい運動は控える。1週間以内に1回と約1カ月後に外来で診察を受ける

そけいヘルニア

人工補強材で筋膜をサポート 術後は腹圧をかけないように注意

そけいヘルニアは、そけい部(太ももの付け根)の筋肉や筋膜が弱くなり、筋肉と筋肉の間から腹膜が出て、ヘルニア囊と呼ばれる袋ができる病気。腹膜は内臓を包んでいる袋なので、それが外に飛び出すと、小腸などの内臓も外に出てしまう。子どもから大人までかかる病気だが、太ももの付け根の筋膜が弱くなる40歳以上の男性に多い。

おなかに力を入れた時に太ももの付け根に軟らかいはれができ、指で押すと引っこむのが初期の状態。このはれが硬く

なつて引っこまなくなり、腹痛や吐き気などの症状が出てくる嵌頓という状態になると、緊急手術が必要になる場合もある。自然に治ることはなく、治療には手術しかない。嵌頓を起こす前なら、日帰り手術で治療できる。

手術方法は成人の場合、飛び出した腸を元の場所に戻し、ヘルニア囊を切除して弱った筋膜を人工補強材で補強する「リヒテンシユタイン法」がある。麻酔は腰椎麻酔を使い、手術にかかる時間は約1時間。リハビリルームで麻酔が切れるまで過ごし、異常がなければ帰宅できるが、痛みは4~5日続き、腹圧をかけるような動きは制限される。「クレーゲル法」という新しい手術法も行われている。

料金

約

15

万円

3割自己負担

約

4.5

万円

そけいヘルニアの日帰り手術ができる主な病院&クリニック

名称	住所	電話番号
医療法人社団 木下会 千葉西総合病院	千葉県松戸市金ヶ作 107-1	047-384-8111
寺田クリニック	千葉県千葉市中央区富士見 2-3-1 塚本大千葉ビル6F	043-225-7300
北青山Dクリニック	東京都渋谷区神宮前3-7-10 AKERAビル地下1階	03-5411-3555
医療法人社団 涼友会 執行クリニック	東京都新宿区赤城下町62 アネックス62-1F	03-3235-9939
医療法人 徳洲会 茅ヶ崎徳洲会総合病院	神奈川県茅ヶ崎市幸町1-4-1	0467-85-1122
医療法人社団 愛心会 湘南鎌倉総合病院	神奈川県鎌倉市山崎 1202-1	0467-46-1717
長野県厚生農業協同組合連合会 佐久総合病院	長野県南佐久郡臼田町臼田 197	0267-82-3131
医療法人 医誠会 医誠会病院	大阪府大阪市東淀川区菅原 6-2-25	06-6326-1121
特定医療法人 徳洲会 松原徳洲会病院	大阪府松原市天美東 7-13-26	072-334-3400
財団法人 仁厚 医学研究所 児島中央病院	岡山県倉敷市児島小川町 3685	086-472-1611

外科医から

手術後は動く痛みがあります。翌日は、その半分からい痛みになります。翌日から仕事に行ってもかまいませんが、腹圧には弱いので重い物を持つたりするのは控えてください。便秘もないほうがよいので下剤を渡します。抜糸は後日、外来で受けることになりましたが、溶ける糸を使っているところなら必要ありません。病院によって違いますので、確認してから手術を受けてください。

茅ヶ崎徳洲会総合病院・外科部長 早田台史先生

民間保険で日帰り手術の費用をカバーできるか?

5~7年ごとに1回入院しないとモトがとれない!?

民間医療保険は従来、「入院日数5日以上」の場合に入院給付金があるというのが主流で、日帰り入院では給付されませんでした。最近の医療保険では、日帰り入院をカバーする商品が増えてきています。入院給付金の額は5000円~1万円程度です。手術給付金については、手術の内容によって各社が約款に定めています。日帰り手術は簡単なものが多いので、おりないこともあります。

日帰り入院をカバーする医療保険はおくくように見えますが、保険料を積算すると、5~7年ごとに1回入院しないと、モトが取れないという計算になります。また、病院に診断書を書いてもらうのに5000円くらいかかりますから、入院給付金がそれで差し引きゼロになってしまうこともあり得ます。入院給付金を受けるのに、領収証だけでいいのかわかも保険会社に確認しておく必要があります。医療保険は、長く入院しなくてはならない重い病気をカバーするためにある、というのが基本です。日帰りといえども手術となれば不安でしょうが、焦って飛びつくとかえって損をすることになりかねません。自分のライフスタイルに合った商品を慎重に選ぶことが大切です。



家計の見直し
相談センター
ファイナンシャル
プランナー

藤川 太さん

急増する日帰り手術 総チェック

手術方法には、瘤のできている静脈の一部を選択的に抜き取る「選択的ストリッピング手術」、2 cmほどの切開を行い、瘤のできている静脈を縛る「高位結紮術」がある。時間は1〜3時間。麻酔は静脈麻酔か局所麻酔を使う。麻酔が切れるまでリカバリールームで3〜4時間過ごし、帰宅するという手順だ。手術後、包帯を外したら、寝る時以外は弾性ストッキングを着用して過ごす。約1週間後に、症状によっては硬化剤を静脈に注射して血管の内側を血栓で詰め、瘤化した静脈を退化させる「硬化療法」を外来で行う(15〜30分)。1ヵ月後、3ヵ月後に通院して経過を見る。治療終了まで半年〜1年かかる場合もある。



外科医から

痔核が肛門の外に飛び出さず、症状が軽いうちは排便の習慣を改善すること、薬による治療で軽快します。手術が必要な症状かどうかは一度診察させていただければすぐわかりますので、本人の希望があれば翌日にでも手術は可能です。痔の手術は痛みを伴い、鎮痛剤もあまり効きません。ほかの手術では、術後は入浴しないように指導しますが、痔の手術では逆に1日に4〜5回入浴のように指導しています。温かくして血液循環をよくし、リラックスすることで痛みが取れるのです。入院すると頻繁に入浴するのは困難ですから、そういう面から見ても、問題がなければ入院するより日帰りのほうがいいとも言えます。

医療法人徳洲会 茅ヶ崎徳洲会総合病院・外科部長 早田台史先生

足の膨らんだ静脈がすっきり術後は弾性ストッキング着用

足の静脈が太く浮き出たり、瘤のように膨らんでしまう病気で、足がだるい、むくむ、疲れやすいなどの症状が出る。血管が浮き出て見た目がよくないなどの外見上の問題もある。重症化すると足に潰瘍ができたり、静脈にできた血栓が肺に到達し、呼吸困難を起こすこともある。

外科医から

局所麻酔や静脈麻酔を使うことで手術後すぐに歩くことができ、日帰りが可能になりました。自然に治癒することではなく、手術の対象になるのは、「硬化療法」では効果のない患者さんです。根治率が高い「選択的ストリッピング手術」の適応をまず考え、症状の軽い患者さんには「高位結紮術」を行います。「硬化療法」のみより再発の可能性は低いです、まったく再発しないとは言いきれません。日帰り手術のメリットとしては、長く入院して安静にしているより早期離床して動いたほうが血栓の症状を起こしにくくなる、ということが挙げられます。傷が落ち着くまでの1週間くらいは激しい運動ができませんが、早めに日常生活に戻ることをおすすめします。

北青山Dクリニック 阿保義久院長

下肢静脈瘤

料金

約

10万円

3割自己負担

約

3万円

痔核

料金

約

13万円

3割自己負担

約

3.9万円

症状が重いと手術術後は入浴が効果的

硬い便を長時間、かんで出していると、腹圧で肛門の薄い静脈壁が一時的に圧迫されてうっ血を起こし、静脈瘤ができるが、それを繰り返しうちに痔になる。直腸と肛門の境目である歯状線の内側にできたものを内痔核、外側にできたものを外痔核という。排便の時に肛門の外に痔核が飛び出したまま戻らないようになると、手術の対象になる。

日帰りできる手術に「ミリガン・モルガン法」と「PPH法」が

ある。「ミリガン・モルガン法」は痔核の付け根を結び、電気メスなどで切除後、傷を縫合せずに自然治癒を待つというもの。「PPH法」は肛門に自動吻合器を挿入し、患部を直腸粘膜内に吊り上げて切除するといふもので、痛みのない歯状線より上で切除するため「ミリガン・モルガン法」より痛みが少ない。手術時間は30分〜1時間で、腰椎麻酔を使う。